

-(으)ㄴ/는 판에

～という切迫した状況で

4級の -(으)ㄴ/는 판에 と近い切羽詰まった状況を示します。こちらはより口語的です。

■ つけ方

品詞	形	例
動詞	-는 판에	망하다 → 망하는 판에
過去	-(으)ㄴ 판에	이렇게 된 판에
名詞	인 판에	난리인 판에
後ろ	反語・断念	무슨-이겠어요?
近い形	-(으)ㄴ/는 마당에	より文語的
分かち書き	판 は名詞	망하는 판에

■ -(으)ㄴ/는 마당에 とどう違うか

切迫した状況を示します。회사가 망하는 판에 월급 애기가 무슨 소용이예요? (会社が潰れるという状況で給料の話が何になりますか)。

마당에 より口語的です。판 は「場・ありさま」を意味する固有語で、話し言葉でもよく使われます。마당 は文語寄りです。

後ろには反語や断念が来ます。「こんなときに何を」という流れが典型で、마당에 と同じ働きです。

이 판에・그 판에 の形でも使われます。이 판에 무슨 여행이예요 (この状況で旅行なんて)。

■ 例文

- 1 먹고살기도 힘든 판에 무슨 여행이나.
食べていくのも大変なときに、何が旅行だ。
- 2 회사가 어려운 판에 임금을 올려 달라니요.
会社が苦しいときに、賃金を上げてくれとは。
- 3 불이 난 판에 짐부터 챙기고 있었다.
火が出たときに、荷物から片付けていました。
- 4 시간이 없는 판에 처음부터 다시 하자고요?
時間がないときに、最初からやり直そうと言うのですか。
- 5 부품도 못 구하는 판에 직접 만들겠다니 무리다.
部品も手に入らないときに、自分で作るとは無理です。
- 6 다들 밤새우는 판에 혼자 먼저 갈 수는 없지요.
皆が徹夜しているときに、一人だけ先に帰るわけにはいきませんね。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄴ/는 마당에
ほぼ同じ意味で、より文語的です。판에 は口語寄りです。
이렇게 된 마당에 (文語) / 이렇게 된 판에 (口語)

-(으)ㄴ/는 데야
相手の態度を受けた断念です。판에 は状況全体を指します。
싫다는 데야 (態度) / 바쁜 판에 (状況)

-(으)ㄴ/는 상황에서
中立的に状況を示します。판에 は切迫感と不満が加わります。
어려운 상황에서 (中立)

■ まちがえやすい点

- X 망하는판에
○ 망하는 판에
판 は名詞なので分かち書きします。
- X 좋은 판에 축하해요.
○ 좋은 상황이니 축하해요.
切迫した状況に使います。
- X 망하는 판에 좋아요.
○ 망하는 판에 무슨 소용이예요?
後ろには反語を置きます。